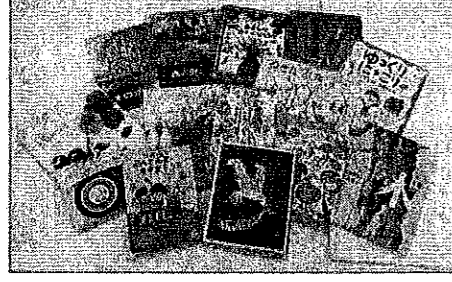




分室コレクション展

「ことばってたのしいな
-木島始の詩と絵本」

1月9日(土)～3月27日(日)



木島始の絵本の数々

『もぐらのうた』『あわていきもののうた』『イグアナのゆめ』『鳥のうた』『やせたぶた』『はなをくんくん』『ゆきのひ』『ピーターのいす』鳥獣戯画をもとにした『かえるのいぼっ

す』木島さんの詩のなかでは、ことばがジャンプしているようです。似た音のことば同士が押し合いつくすくす笑っているようにも見えます。動物たちもなんだかのんびりでユーモアたっぷり、かばは館玉倉庫に入ってよだれをたらしているし、かまきりは盆踊りを踊っています。詩の中の動物たちには、人間の気持は合ひとつたようですが、けんかに負けたときのさびしさや、人を傷つけてしまったときの心の痛みにも、そっと寄り添ってくれる詩たちです。

あごひげをたくわえて、優しい目をして微笑んでいるのは、練馬区に長く住んだ、詩人の木島始さん(1928～2004)です。亡くなってから11年が経ちましたが、このほど、木島さんの遺品資料が、練馬区に寄贈されました。たくさん詩集、たくさん絵本、たくさん翻訳をした木島さんの世界は膨大です。難解と思われがちな現代詩や、アメリカ黒人文学の翻訳...も著名ですが、今回は、木島さんの自由な感性に彩られた、楽しくリズムにあふれる詩や童話、絵本の世界をご紹介します。



撮影：新井翠翹

『...年齢に関係なく楽しめる、えりすべりの言葉と絵の花束です。』

その根底には、京都人としての言語感覚、高校生のように広島で、被爆した同級生を看護した日々などが、深く沈んでいます。傑作絵本とされる最後の絵本『木』の原稿は、病院の待合室でも書かれたものですが、のびのびと風にかれる大木の様子に、心が洗われるようです。

展覧会では、一冊の絵本ができるまでの、自筆の原画類や、何回も推敲を重ねた原稿、日々の楽しみに作った小さな手仕事の作品、そしてなにより、そこから射し出てくる詩と絵本の輝きをじっくりご覧ください。木島さんのなぞなぞによる「なぞなぞのかべ」や、絵本を読むコーナーもあります。本のなかの動物たちも、あなたを待っています。

1・2月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
1/16(土)	14:00～15:00	絵本と遊ぼう会 区立南田図書館員によるおはなし会です。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 和室	上演：南田図書館員	30人	幼児～小学生	無料	なし
1/20(水)	15:00～15:40	「ことばってたのしいな」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
1/23(土)	A回13:30～15:00 B回15:30～17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説：梶田弥 (慶應義塾大学文学部准教授)	各回20人	中学生以上	500円 当日払い	1/9(土)★
1/24(日)	15:00～15:40	「ことばってたのしいな」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
1/30(土)	10:00～12:00	どうぶつかるたをつくってあそぼう！ 動物のかるたをつくってみんなであそびます。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師：当室学芸員	30人	小学生	100円 当日払い	1/16(土)★
1/31(日)	12:00～13:00	サロコンサート 武蔵野音楽大学学生によるコンサートです。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	演奏： 武蔵野音楽大学学生	100人	どなたでも	無料	なし
2/3(水)	15:00～15:40	「ことばってたのしいな」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
2/20(土)	15:00～15:40	「ことばってたのしいな」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
2/21(日)	10:00～12:00	詩と絵本のハーモニー♪ 木島始の詩をもとに絵本をつくろう！ オリジナル絵本づくりがたのしいです。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師：真子みほ (練馬区立美術館学芸員)	30人	小学生以上	300円 当日払い	1/26(火)★
2/27(土)	A回13:30～15:00 B回15:30～17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説：西川和男 (オーディオ研究家)	各回20人	中学生以上	500円 当日払い	2/13(土)★

★の申込方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。
(http://www.neribun.or.jp/furusato.html)

♪毎週火・木曜日、2階五味康祐オーディオ展示室にて音出しメンテナンス実施中！ご自由に試聴いただけます。

講座「和」を学ぶシリーズ第4回

親子いけばな

11月1日は分室開室以来通算4回目となる「親子いけばな」を開催しました。

この講座は、小学生以上のお子さんとお母さんと保護者が一緒になって季節のお花を生ける、大変人気のある講座です。初心者の方でも心配ご無用。先生方が優しく丁寧に教えてくださいます。

参加者の方はまず、作品のなかで使うお花を選びます。今回はガーベラやリンドウなど、秋の花々をメインに用意しました。お花を選び、先生から生け方の説明を受けたあとは、さっそく制作に取り掛かります。講師は第1回からご指導いただいている練馬区華道茶道連盟の先生方です。「メインのお花はどれにしようか」「どう生けたらバランスがよくなるかな」先生のアドバイスはもちろん、親子でいろいろ相談しながら自由に制作できるのもこの講座の魅力のひとつです。「生け花ももちろんそうだけれど、今好きでしていることがあるならなんでもぜひ続けて欲しい。好きになれば自然と上達するんだから」先生の温かいお言葉がとても印象的です。

来年度もきっと開催します。まだ参加されたことのない方はぜひこれをきっかけにお花、そして日本の文化の一端に触れてみてはいかがでしょうか。



すてきな作品がたくさん生まれました



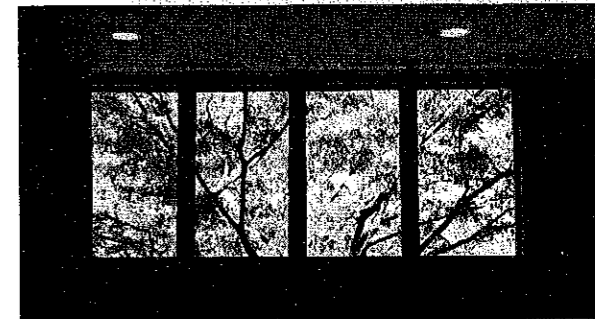
公園の四季 ~色とりどりの紅葉~

もうすっかり冬の寒さになりましたが、少し振り返ると、10月から11月にかけては各地で紅葉がピークを迎えました。紅葉狩りや大きな自然公園に出かけたりした方も多かったのではないのでしょうか。自然豊かな石神井松の風文化公園も、他の施設や公園に負けないくらいの見事な紅葉を気軽に、そして身近に楽しむことができました。

今回は次の紅葉のシーズンに屋内から楽しめるおすすめの見物スポットをご紹介します。

一つは、管理棟のホールから2階に上がっていただいた目の前の大きな窓から見える景色、二つ目は五味康祐オーディオ展示室の窓から見える紅葉の枝、そして三つ目は多目的室から見渡せるグラウンドの景色です。特に多目的室から見るグラウンドの景色は、イチョウをはじめとした木々の色の移り変わりが一望でき、まさに絶景です。

今年のピークは過ぎてしまいましたが、来年もきっと美しい景色で訪れた人を楽しませてくれることでしょう。



オーディオ展示室から見た紅葉の枝。レコードコンサートの日は美しい音楽を聴きながら景色を楽しむことができます。

手巻き蓄音器とSP盤による

レコードコンサート

12月6日(日) 12時からの1時間、手巻き蓄音器とSP盤(78回転レコード)を使ったレコードコンサートを開催しました。これまでクラシックのSP盤を使ったコンサートは2回行いましたが、今回は戦後のジャズ、ポピュラー音楽のコンサートです。

使用した蓄音器は、アメリカ製のヴィクトロラVV4・40という当館の収蔵品で、1925年ごろ、約90年前に製造されたものです。(電気は一切使わず、ゼンマイで動きます。)

演奏した曲は、戦後の昭和25年前後のアメリカのジャズ、ポピュラーの名曲と、日本の「元祖三人娘」・美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみのレコードをかけました。

約50人の方にご参加いただきましたが、参加者からは「若い頃を思い出した」「蓄音器の音は心が穏やかになる」「懐かしい音楽を楽しく聴くことができました」「今後も続けてほしい」などの声が寄せられました。

今後も機会をとらえて開催したいと考えています。

今月の作品

河竹登志夫著

『日本の古典芸能—名人に聞く究極の芸』 (かまくら春秋社 2007年)

演劇研究者・河竹登志夫さんによる、古典芸能に携わる10名との対談が収録された本作。対談者のひとりとして、今年、文化功労者に顕彰された、練馬区ゆかりの狂言師・野村万作さんがいます。

万作さんが狂言をはじめた幼い頃の思い出や、型の話、狂言と能の関係性など、「声と身なり」の芸の、簡素でありながら繊細な世界が語られています。伝統を受け継ぎながら、新しさを求める万作さんの熱意が伝わる一冊です。

狂言のほか、歌舞伎や日本舞踊、文楽太夫などのお話も収録されています。

次回・展覧会

「作家と動物」(仮題)

平成28年4月9日(土)~6月26日(日)

おそろおそろ原稿をいただくイメージの作家も、愛犬や愛猫にはデレデレの顔をするときがあるようです。切に追われるスケジュールのなかで、犬好き、猫好き、鳥好き・・・の作家たちは、一時の安らぎを得るのでしょうか。また、動物たちが芸術のミューズとなって、作品で活躍してくれることもあるようです。作家とその仲良し動物、作品に登場する有名動物、「動物文学」というジャンルの3つの視点で構成する展覧会です。動物写真募集企画も。春の特別展です。お楽しみに!

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園ふるさと文化館分室

(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内

Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通有)

・西口から徒歩15分(富士街道沿い)

・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

◆西武新宿線石神井駅

・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

